

令和6年度 児童朝会 (講話88)

令和6年12月16日【はたらく2】
おはようございます。冬休みまであと5日になりましたね。風邪などひかないよう元気に通ってください。

先週のお題は、子どもと大人、野球をしたりお料理をしたりしますがどこが違う？というテーマでした。今回の多くのお友だちに回答をいただきました。ありがとうございます。レベルが違う、おいしさが違うなどいろいろありました。中でもお金をかせぐかどうかというのがありました。今回はそこを少し考えていきたいと思っています。

考えが難しくなるときは、反対のことを考えると少しは考えが整理してきます。

こちらの写真をみてください。何をしていますか？そう、消防隊員が火を消しています。こちらは、救急隊員が人を助けています。この人たちは、お金をかせいでいますか？救急車を降りるときに、お金を渡す人はいません。火を消してくれてありがとうございますとお礼は言ってもお金は払いません。なぜならこれらは全て無料だからです。では、消防隊員や救急隊員はお金をもらえないのでしょうか？そんなことはありません。これらの人は、直接サービスを受けた人からもらうのではなく、税金でもらうのです。税金ってどんなのがありますか？そう消費税などが有名ですね。100円のチョコレートを買うには108円払います。その8円が消費税で、それを

国が集めて、消防隊員や救急隊員に給料として支払っているのです。この学校や道路、公園なども全部この税金でつくられているのですよ。

これらの人を見たことはあるでしょうか？そう、朝、街角で皆さんの登校を見守ってくれている、見守り隊の皆さんです。この人たちは、実は1円もお金をもらわずに働いているのです。でもお金をもらっていないからといって、遊んでいるわけではありません。こう考えますと、働く目的は、お金をかせぐためだけではないことがわかります。なお、このように無償ではたらく人のことをボランティアと言います。朝の見守り隊の人、1年生の給食のお手伝いをしていただく人、公園のお掃除をしてくれている人などなど、みんな無償でがんばっておられるボランティアの方々です。

ではボランティアみなさんは、お金をかせぐのではないとしたら、一体なんのために働いているのでしょうか？

これこそが、子どもの野球とプロ野球の大きな違いだと思います。つまり子どもの野球は、自分が野球が好きで野球をしたいから、野球をします。でもプロ野球選手は、自分のためでもありますが、お客さんを喜ばせるために野球をしています。

子どもの料理は、自分が食べたいから料理をしますが、プロのシェフ、パティシエは、できたものを自分では食べません。お客さんにおいしく食べてもらいたくて、お料理をします。自分

のためだけではなく、誰かのために働くのが大人、プロと言えます。

そして、人はいきなり大人、プロにはなりません。だから学校に通って勉強しているのですが、逆に産まれたときはみんな、自分のためだけに生きています。そこから少しずつ成長して、大人になり、やがて見守り隊のみなさんのように、「自分のため」ではなく「誰かのため」に働くようになっていきます。小学生の皆さんも、1年生は日直や給食当番のお仕事で、4年生以上は委員会のお仕事などで、自分のためではなく、誰かのために働いていますよね。すばらしいことだと思います。

では、皆さんは将来誰かのために、どんなお仕事で働きたいですか。これを校長室前のボードに書いてください。

以上で校長先生のお話を終わります。今日も最後まで聞いていただき、ありがとうございました。